

道東地区教会連合会機関誌



道東 49 光報



'DÔTÔKÔHÔ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.49 Oct.,2022

▼今号は7月に開催した研修会の内容と教会掲示板を掲載いたします。まずは、各教会からのおたよりを御覧ください。

教会掲示板

教会からあれこれ

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―二三―六八三五
FAX 〇一五五―二三―六八三五

新型コロナウイルスのワクチンも高齢者、第四回目の接種率は六割になりましたが軽症化、無症状もあり接種率は低迷気味です。また道東地区は特に多いようです。今年一杯は油断ができません。コロナの身近に迫ってきており、信奉者、身内にも感染が広がっています。油断なく個々人でマスク着用、消毒、

手洗い、三密を避る行動を徹底して行かなければと思います。また教会においても換気などを施し感染防止に努めて行く必要があります。

○

今年六月十九日、帯広教会天地金乃神大祭並びに布教百年大祭を仕えさせて頂きました。コロナ禍でありましたので、祭典、祝賀会はホテルを利用し、函館親教会長矢代利恵先生を祭主に道東地区教会連合会の先生方、関係教会の先生を祭員に仕えしました。講師は三重県関教会長松澤光明先生にお願いし「力の入れどころ」と題して講話を頂きました。

改めて、道東地区教会連合会の先生方及び信奉者の方々にお祈り添え、ご参拝頂いたことにお礼を申し上げます。

秋の生神金光大神大祭も感染状況を見守りながら仕えさせて頂きます。

それぞれが願い合い、支え合い頼み合いをしておかげを蒙ってまいりたいと思います。

改めて今できることを考え、天地の大神、そして今日のいのちをいただいたこと、御取次を頂いて助かったことに対してお礼の御祭りを心を込め仕えたいと思います。

(田中)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五―一四三―三九五四
FAX 〇一五―一四三―三九五四

オホーツク地方の感染者はかなり減少してきましたが、まだまだ油断が出来ません。

教会恒例のバザーは今年も中止になりましたが、ご都合お繰り合わせを頂いて今日まで月例祭、月例霊祭、天地金乃神大祭、秋のみたままつり、宅祭など教会ご用ができましたことは誠にありがたいことと改めてお礼申し上げます。信奉者家族として一人一人が神様に心を向け、和賀心となって「神人の道」が現れるよう、信心しておか

げを蒙る教会ご用をさせていただきます。今年7月16日で網走教会布教100年の記念大祭まで365日となりました。布教100年記念大祭奉迎委員会を立ち上げ、奉迎委員長、予算、講師、祭典、祝賀会の会場などを決定いたしました。記念事業として、すでに教会広前の窓をサッシに変更、信奉者が利用しやす

いように教会玄関のスロープ、トイレ洋式改修工事などお繰り合わせをいただきおかげを蒙つてまいりました。有り難いこととお礼を申し上げます。

百年に向けて、和賀心となつて信心の稽古と諸準備を進めてまいりたいと祈念しています。

この度もコロナ禍でありますので、網走教会 生神金光大神大祭は、手洗い、消毒、マスク着用、三密を避け当教会信奉者のみで大祭を仕えさせていただきます。隣接教会の交流は行わないことになりました。また、大祭終了後の直会はいけません。どうぞご理解をいただきますようお願いいたします。

(田中)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

去る九月十三日の函館教会布教百三十年記念祭、併せて兄と母の十年祭に参拝いたしました。この度の講師の田中元雄先生にお会いするのは約四十年ぶり、先生が私が忘れていた若かりし頃の至らぬ言動の数々をしつかりと覚えていたのはまいりましたが、それでも大病を克服して元気にお越し下さり、楽しく昔話に花を咲かせることが出来たことは本当に有り難いことでした。

講話の中心は、函館教会の二代代次先生の「困るということがない信心」で、帰られてから参考までにと金光図書館にあった代次先生の話を

をダビングして送って下さいました。

その中で代次先生は「私は信心して困るということがない生活を送っています、困ることがあってもなるべく困るという言葉を使わないようにしています。」また「函館教会の玄関の上に掲げている番傘に傘一本で道開くがありますが、傘が丸く開くように世の中が幸せの方に進歩発展していく、教祖様は天地自然の素晴らしい大きな働きを傘一本の番傘で表現なさった云々」と話されています。このお話は短くほとんど要点のみですが、困るとばかりが目立つ今の世の中に生きる私に、「僕の困るということがない信心を改めて考えてみたらどうか」と祖父である代次先生が語りかけてくれたように聞こえ

ました。

また、母の思い出話として高村恵美子先生が、母が教会の近くの公園の折れた桜の枝を拾ってきて、それを青い水に浸けておいて青い花びらの桜を作っていた、そのように色々と工夫することを楽しまれる方でしたと話されました。私は初めて聞くことでしたので、母の思い出が一つ増えたことがうれしく懐かしさに心が温まりました。

今回の参拝は、過去を知り過去を生かし磨きをかけて新たに輝かせることが今の私達の成すべき事であること、そのためにこれからまだまだ学ぶべき事が多いことに気づく機会でした。

(矢代)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―三六一

この度の会報に何を書こうかと懸命に考えたが、何を書いたらいいのかわかりません。それで、コロナウイルスのことを思いつくままに書いてみたい。

コロナウイルスの第7波は終息しようとしているが、第8波に向けたワクチン接種が行われているようだ。我々年寄り組はこれまで4回ワクチンを受けている。だが、この度のワクチンはオミクロン株のB A 1にも対応したようなワクチンで、B A 5にも対応しているという。そうすると、我々が4回も受けたワクチンはこのオミクロン株に対応していないということか。このワクチンが

釧路に届いた時には、またワクチンを打つことになるのか。いつまで続くのだろうか。

テレビを見ている限り、このワクチンを受けている方々は、札幌では2回目ぐらいの人が多いようで、正直者は馬鹿を見えるという感じだ。

今年のはじめ頃までは、10

代から20代ぐらいまでの若い人たちは、コロナウイルスに感染しても重症化しないと言われていて、ワクチンも打っていないかったようだ。ところが重症化はしないが、倦怠感や頭痛、脱毛など後遺症が起こり、細胞の老化現象まで起きていたという。細胞老化とは、傷ついた細胞が増殖をやめて生き続け、周辺に炎症を起こす物質を撒き散らす減少で、ガンや動脈硬化な

ど、様々な病気の原因になるという。あわてて若い層もワクチンを打ち始めたようだ。

今年ノーベル医学生理学賞を受賞したスウェーデン生まれで現独ミュンヘン大学教授スバンデ・ペーボ博士の話が面白いので新聞記事の要約をのせる。

中国やモンゴルに近いロシアのアルタイ地方にあるデニソワ洞窟は、人類学にとって貴重な遺跡だ。数十万年に渡って利用され、多くの人骨が堆積している。低温で保存状態がよく、正確なDNA解析が可能だという。博士は、大量のDNAを解析する方法を確立し、人類研究を変えた。ネアンデルタール人のゲノム解読にも成功し、洞窟の骨のDNAから近縁

の「デニソワ人」を発見、命名した。中国チベット高原の洞窟から40年以上前に発見された人骨の化石もDNA解析の結果デニソワ人だと判明した。

現代人にその遺伝情報が引き継がれていることもはつきりしてきた。12年前まで、誰も知らなかった古人類がアジアを歩き回り、現代人とも交流していた姿が目につくかぶようである。沖縄科学技術大学院大学で客員教授を務めるベীব博士は、「日本人はネアンデルタール人とデニソワ人、双方に由来するDNAを持っている。その日本で研究するのは嬉しい」と語っている。

(毎日新聞から要約)

もちろん、ネアンデルタール人もデニソワ人も絶滅し

ているが、アフリカから移動したホモサピエンスが、ユーラシア大陸の西側ではネアンデルタール人と、東側ではデニソワ人と交雑していたことを示したという。ベীব博士はネアンデルタール人の「OAS」という遺伝子の特徴を受け継いだ人では、新型コロナウイルスに感染しても重症化しにくいという研究結果も発表した。日本人の30%がこの遺伝子を持っている。古代人の遺伝子が、現代人の免疫に影響を及ぼしていることも明らかにした。DNAは死後、時間とともに分解されていく。また、古い化石のDNAを解析しようとしても、作業する人の汗や皮膚の一部が混じると正確な結果を出すことができない。ベীব博士の解読の成功は、専用の清潔な部屋を

用意するなどDNAの取り扱いに最新の注意を払った結果によるものだと言われている。財団は評価している。

(朝日新聞から要約)

という記事を読んだりしていると、現生人類にも生き延びる機会があるのか、また新しい人類が生まれるのか。謎は続くが、今はまだ新しい人類は見つかっていない。人類が月や火星、木星などで生活するようになると、どうなるのかなと思う。

コロナの話に戻ると、コロナは少なくとも人と人とを接近させなくなった。そういう危惧を持っている。これまでの人類の歴史の中で、何度もパンデミックが起きてきた。人類はスペイン風邪、インフルエンザやコロナといったウイルスや病原体と

戦いながら今に生きてきた。金光教の信奉者としては、神様からのおかげを受けて、コロナ後に生きる信心生活を続けていきたい。お互いに頑張りましょう。

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二一
TEL 〇一五五七一一二三二三
FAX 〇一五五七一四二二三

まずは滝上礼拝所から

岡山県井原市美星町にある金光教黒忠教会は、滝上町開拓の礎となられた岡本政道先生(初代滝上教会長、元滝上町長)をはじめ岡山金光開拓団を送り出された教会であり、旧滝上教会の親教会にあたります。去る10月7日、黒忠教会教会長・山下禎子先生が、滝上町を来訪されました。滝上礼拝所、旧滝上教会、岡本先生

の奥城に参拝されたほか、入植当時から信心を守られてきた信奉者のお宅で御祈念を仕えてくださいました。

ご高齢のこともあり、ご家族のサポートを受けてのことでしたが、「なんとか一度は滝上に」との願いが叶い安心しておられたようです。また何よりも開拓団の子孫の方々が本当に嬉しそうにされていていましたが、その姿を見ると「開拓に入られた方々の霊様が喜んでおられるのかな」と思えるのでした。

引き続き十勝教会から

皆さんは横山祐二さんの「十勝ひとりぼっち農園」という漫画をご存知でしょうか。著者である横山さんが、編集長から「自分で畑を耕して、関係者にふるまえ」との

命令？を受けて十勝に移住、実際に野菜栽培に挑戦する様子を綴った移住エッセー漫画です。

そのなかでこんな話が出てきます。

突然玉ネギをたくさん育てなければならなかった横山さん。「オレの力でなんとかしなくちゃ」と息巻いて、玉ネギの苗に大量の追肥を行います。が、数日後、玉ネギの苗は枯れてしまいます。プ口的農家の見たては「肥料ヤケ」。つまり追肥の仕方が悪かったとのこと。ガツクリ肩を落とす横山さん。農家さんからは「肥料ヤケは病気ではないから、これくらいなら何もせずに元に戻る」と言われますが「何もせずに？ 本当に？」と半信半疑。そして二週間後、農家さんの言う通り、玉ネギは再び葉が伸びだ

し元通りに戻ります。

そして横山さんは気が付きます。自分の力で野菜を育てると息巻いていたが、野菜が育つ邪魔をしていた、大事なことは「野菜は生きていて、自分にできるのはそのお手伝い」、「野菜が主で自分は従」。

なんだか教祖様が言われてもおかしくない言葉でしょ。たかが漫画だからと侮るなかれ。

(玉置)

各教会大祭日程

※交流参拝については各教会
にお問い合わせください

釧路	10月23日(日)
北見	11月3日(祝)
十勝	11月20日(日)
帯広	11月6日(日)
網走	10月16日(日)

行事予定

▼連合会役員会

月 日 令和4年11月23日

場 所 北見教会

内 容 今年度活動報告、会計報告。次年度活動計画、予算について
連合会長選挙

対象者 連合会役員

行事報告

令和4年度 道東地区教会連合会研修会

「わがところから神心へ」

「信心すればおかげがある？」

日時 令和4年7月10日(日) 午後1時
会場 網走教会

参加者 18名

今年二年ぶりに連合会研修会が開催されました。

北海道教区では、今年度から「わがところから神心へ」をテーマに掲げ、一人ひとりの信心が育つことを願った活動を行っています。

そこで今回の研修会では、実際に信心していて神様の「おかげ」を受けたことがあるのか、「おかげ」を受けたと思うことはあるか、どうやって「おかげ」を受けたのかを参加者のみなさんにアンケートをしてみることにしました。

ここではその結果をみてみることにします。なお、集計結果の分析等はいたしません。

回答数 17件 (40代1、50代1、60代5、70代6、80代1、無回答3)

Q 信心していて「神様のおかげを受けた」(と思う)体験はありますか？

ある 14

そのために信心している 2

ない 0

無回答 1

Q よろしければ「おかげを受けた」体験を教えてください(代表的なものを抜粋)

- ・家族の幸福(けが、事故なく健康で)
- ・家族みんなが元気にそれぞれの場でお役に立っていること
- ・子供達や孫達が結婚
- ・子供の進学
- ・日々生かされて生きている
- ・健康に過ごせている事
- ・ご都合おくり合わせを必ず頂く
- ・仕事上の難儀を乗り切る力をいただいている。
- ・おねがいしていたことが先々になって良い方向になった
- ・42歳の後厄から今まで生かされている事におかげを頂いている

- ・今現在ここに居られる事こそ「おかげ」と思いたい
- ・二階の屋根より落下、頭蓋骨骨折するも治って普通の生活ができた
- ・大難を小難に、お繰り合わせ、物事が片付く
- ・人間の働きを超えたものを感じる 草木動物の成長

Q その「おかげ」はどうやって受けましたか？

教会でお取次をいただいた 8

自分で神様にお願いをした 7

毎日神様に願った 7

特に何もしていない 1

その他 2 (自分流の?信心

常に天地書附を唱えていたからかなと…)

Q 金光教では、信心していなくても「神様のおかげ」は受けられると教えられています。信心せずにおかげは受けられると思いますか？

そういうおかげもあると思う 13

信心しないとおかげは受けられないと思う 2

わからない 0

無回答 3

その他 2 (両方あると思う 自覚を持って信心をしているから)

Q 信心しなくても受けられるおかげにはどんなものがあると思いますか？

あるいは、これも神様のおかげかもしれないと思うものがあれば教えてください (代表的なものを抜粋)

- ・生を受けた事 生きていること 生かされていること
- ・天地金乃神様のお働きを頂いての今日の命であるから

- ・天地のお恵みをいただいて生活できていること
- ・呼吸、心臓の動き、目が見える。人間の力では勝手にどうすることも出来ない事
- ・日々あたりまえと思う事がおかげなんだと思うようになりました
- ・信心していてもいなくても自分の願いが届く様
- ・信心しなくてもやはり誰かが願っていて、本人が気づかずにいる。
- ・「おかげ」を受けたと感じる人は即ち信心があるからである

以上、回答数は少ないのですが色々なことを示唆する内容だと思います。
みなさんは、この結果をどのように追われたでしょうか。



道東地区教会連合会ホームページ（PC用）
<https://konkotokachi.stars.ne.jp/kyokai/doto/>